

建設産業の現状と課題

平成29年10月

①地域を支える中小建設業の役割

建設業は、地域のインフラの整備・維持の担い手であると同時に、地域社会の安全・安心の確保を担う地域の守り手として、なくてはならない存在です。また、基幹産業として地域の雇用を支えると同時に、本業を活かした地域創生の貢献にも寄与しています。

「地方創生」を支える

○本業で磨いてきた力を活用し、新たな分野における創意工夫ある取組を通じて、活力ある地域づくりに貢献



▲林建協働(岐阜県飛騨地域)



▲建設と農業の多能工(愛媛県)

「地域インフラの整備・維持」を支える

○地域を支えるインフラ整備やメンテナンスを着実に実施



▲修繕・耐震補強



▲国道メンテナンス



▲橋梁に対する診断

「災害時の応急対応」を支える

○3月11日の震災直後より避難所の緊急耐震診断等を実施するとともに、同日午後6時には道路啓開作業を開始(仙台建設業協会)



作業後



「地域の社会・経済」を支える

○生産年齢人口の5%を雇用する基幹産業として、地域の雇用を下支え

○地域住民の生活が円滑に行われるよう、除雪等を実施



▲地域雇用の促進

出展：国土交通省 「建設業を取り巻く現状」

②将来の維持管理・更新費の推計【H25.12】

国の社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会での審議を踏まえ、国土交通省において試算した結果によると、2013年度の維持管理・更新費、約3.6兆円を基準に、10年後は4.3兆円～5.1兆円、20年後は、4.6兆円～5.5兆円程度になるものと推定される。【右図参照】

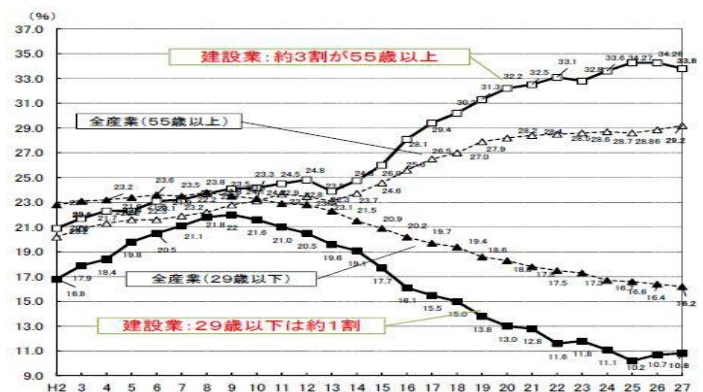
年度	推計結果
2013年度	約3.6兆円※)
2023年度(10年後)	約4.3～5.1兆円
2033年度(20年後)	約4.6～5.5兆円

※)2013年度の値(約3.6兆円)は、実績値ではなく、今回実施した推計と同様の条件のもとに算出した推計値

出展：国土交通省 「建設業を取り巻く現状」

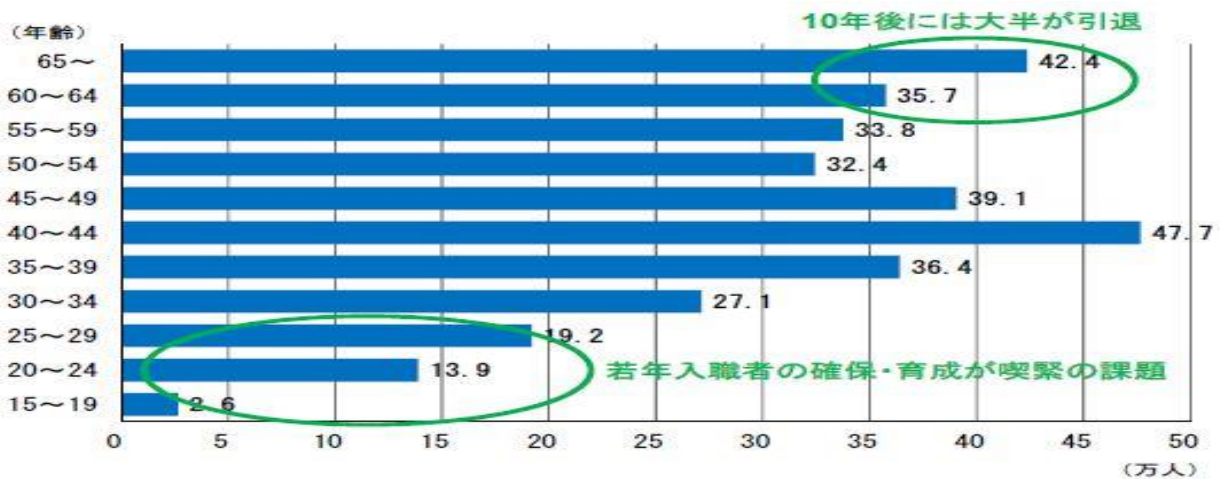
③建設就業者の高齢化の進行

建設業就業者は、55歳以上が約34%、29歳以下が約11%と高齢化し、次世代への技術承継が大きな課題となっています。実数ベースでは、建設業就業者数のうち平成26年と比較して55歳以上が約4万人減少、29歳以下は同程度です。(平成27年度)【右図参照】



出典：総務省「労働力調査」を基に国土交通省で算出

④高齢者の大量離職の見通し(中長期的な担い手確保が必要) 基準年=平成27年

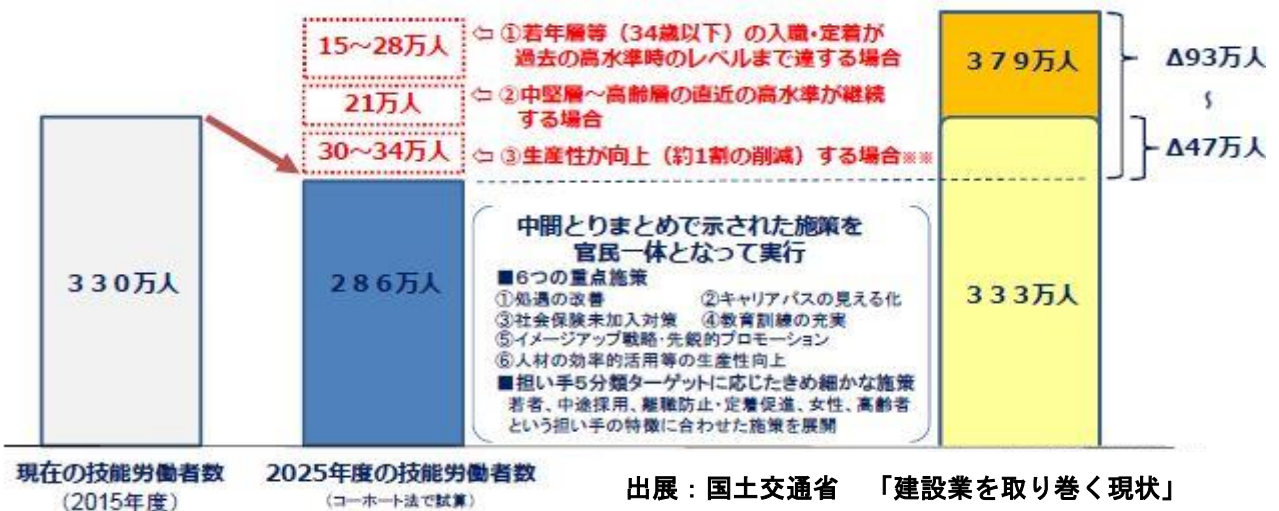


出所:総務省「労働力調査」を元に国土交通省で算出

⑤建設業の中長期的な担い手確保の試算

2025年の技能労働者数は、コーホート分析により、約286万人と試算(2015年度比で44万人減少)。一方、建設市場規模の見通しを踏まえ、2025年度に必要な技能労働者は333万人～379万人と試算されています。両者で47万人～93万人の差分が生じる試算です。【下図参照】

※平成28年審議第7回中央建設業審議会基本問題小委員会資料より作成



⑥建設キャリアアップシステムの構築

～建設技能労働者の生産性向上と働き方改革の実現に向けて～

将来にわたり建設産業の担い手を確保して行く上で、建設技能労働者のキャリアアップの道筋を示すこと、技能者が適正な評価と処遇を受けられていくことが重要です。また、技能者の資格等の情報や現場での就業履歴等を業界統一のルールで蓄積する「建設キャリアアップシステム」が構築されています。平成29年度運用開始 【下図参照】

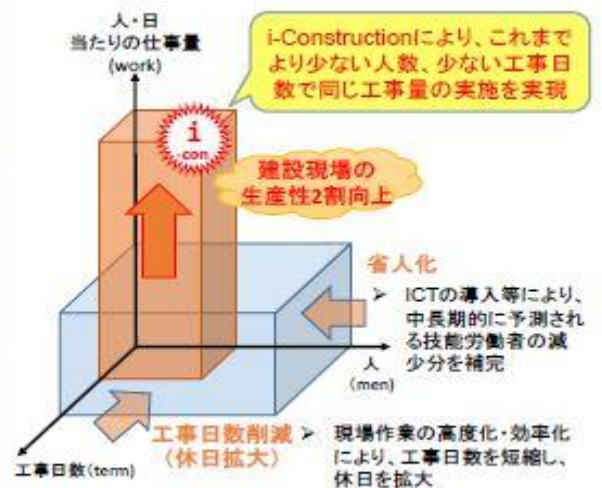


⑦ i-Construction ～建設業の生産性向上～ (全ての建設プロセスで ICT 等を活用)

建設業は社会資本の整備の担い手であると同時に、社会の安全・安心の確保を担う、我が国の国土保全上必要不可欠な「地域の守り手」です。人口減少や高齢化が進む中に有っても、これらの役割を果たすため、建設業の賃金水準の向上や休日の拡大等による働き方改革とともに、生産性向上が不可欠であります。国土交通省では、調査・測量から設計、施工検査、維持管理・更新までの全ての建設生産プロセスで ICT 等を活用する「i-Construction」を推進し、建設現場の生産性を2025年度までに2割向上を目指しています。【下図参照】



【生産性向上イメージ】



【参考資料】

・ 人手不足に ICT 建機

建設大手のコマツが、人手不足が深刻な建設業界の支援に力を入れている。初心者でもシヨベルカーを熟練者なみに操縦できるようにしたり、測量や工事進捗の確認をドローンに委ねたり。情報通信技術 (ICT) を駆使して人手を補う取り組みだ。(2017. 8. 23 朝日新聞経済面より)

・即戦力の人繰りで深刻

日本商工会議所が今春、全国の中小企業を調査すると、建設業は約 7 割が「人手不足」と回答した。特に即戦力の人繰りが深刻だ。日本建設業連合会によると 2025 年までに 130 万人の不足が生じるといふ。国土交通省は ICT 建機などの活用で生産性を 2 割高める必要があると指摘している。

(2017. 8. 23 朝日新聞経済面より)

【岐阜県内の景気動向】

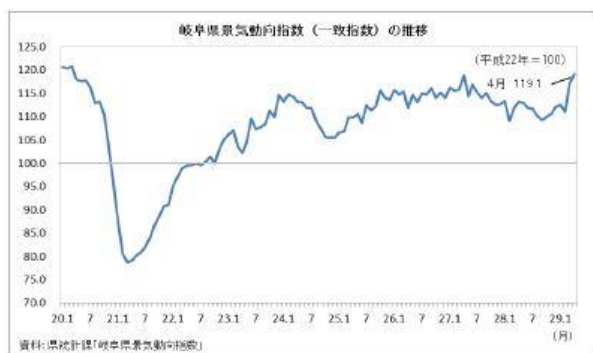
岐阜県内の景気動向は、【図 1】に示すように、平成 22 年 1 月の指数を 100（基準年月）とし、徐々に上昇してまいりましたが、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災、と翌年 4 月からの消費税率の 8%への引き上げは、岐阜県内の景気動向指数を大きく左右して推移してまいりました。

平成 29 年 4 月の指数では、基準年月指数を 19.1 ポイント上昇するに迄至っています。

また、平成 29 年 4 月～6 月期の売上高 DI は、製造業が 14.2 ポイント改善、非製造業は、8.5 ポイント改善となっています。【図 2 参照】

【図 1】 岐阜県景気動向指数の推移表

出典：岐阜県統計課



【図 2】 県内企業の売上高 DI の推移表

出典：(公財)岐阜県産業経済振興センター



①県内建設産業の現状

【図 3】 新設住宅着工戸数の推移 出典：岐阜県建築指導課

6 月の住宅着工数は、前年同月比 10.1 ポイント増加し、2 カ月連続で増加しています。持ち家が前年同月比 1.7%増と、4 カ月ぶりに増加に転じたことに加え、分譲が同 50.8% 増加顕調に推移しています。



◇住宅関連 ・県内の展示場の集客、受注前月並みで良くない。県内 のリフォームの受注も悪くなっています。

◇木材加工 ・売上は、前年同月 5%～10% 減少。先が見えず秋降が不安。このままでは、やめなければいけない状況となっています。

◇製 材 ・売り上げは対前年比 95%。今後の見通しは厳しくなる予則となっています。

(ぎふ経済レポートより抜粋)

平成 29 年 4 月－6 月期の発注者別の公共工事請負金額については、独立行政法人が前年同月比プラス 83.2%と大幅に増加し、市町村も同 10.8%増加しています。

【図 4】公共工事請負金額の推移

出典：岐阜県



◇前値並みの水準で推移しています。

◇新卒の雇用が難しく、技術者は大手へ、技能者は高齢化が進んでいます。

◇今年度は、ボーナス支給率を上げる企業が増えています。

(ぎふ経済レポートより抜粋)

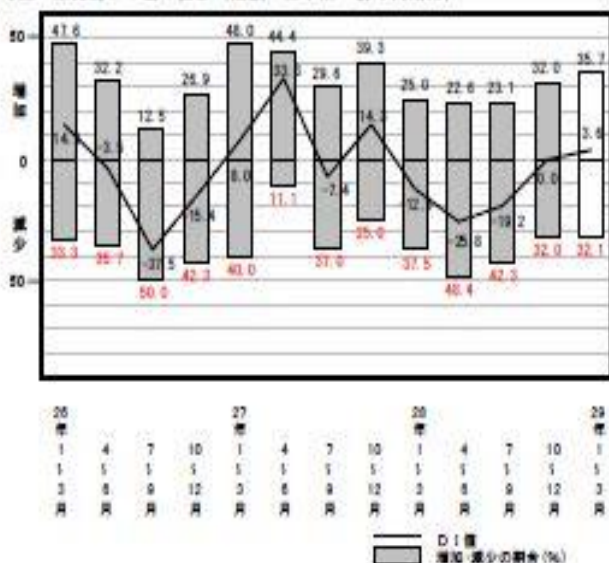
【高山市内の景気動向】

業種別の DI を分析すると、「建設・土木業」「製造業」「飲食業」「旅館業」においては 前回調査よりも増加しており、それ以外の業種においては、いずれも減少しています。

また、来期予測に关しまして、「建設・土木業」のみが同値と予測しているが、それ以外の業種においては上昇すると予測しています。【下図参照：出展 高山市商工課】

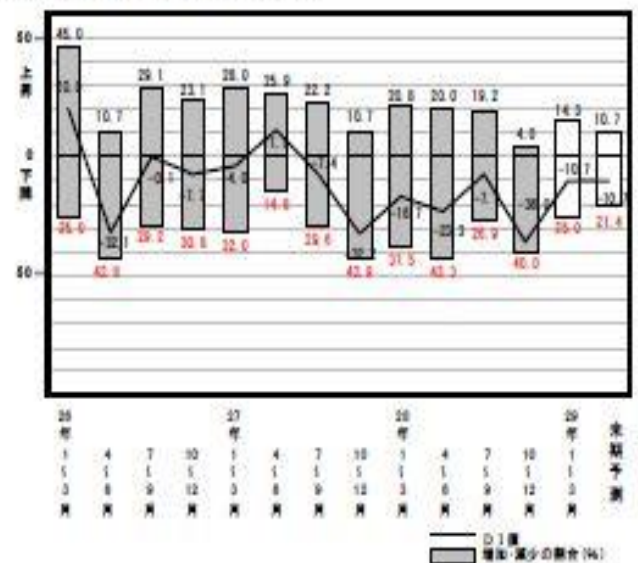
前年同期 DI 販売高

参考図 販売高 DI 値の推移 (建設・土木業 前年同期比)



来期見込み販売高

参考図 景気 DI 値の推移 (建設・土木業)



【高山市内の雇用状況】

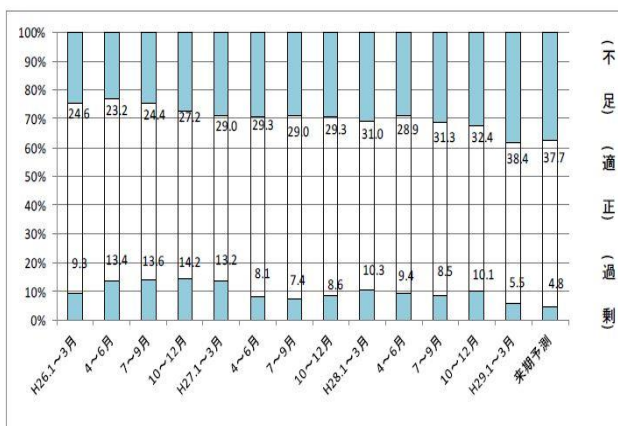
今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は5.5%で、前回（10.1%）より4.6ポイント減少し、「不足」と回答した事業所の割合は38.4%で、前回（32.4%）より6.0ポイント増加しています。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は4.8%で、今期と比較して0.7ポイント減少しています。「不足」と回答した事業所の割合は37.7%で、今期と比較して0.7ポイント減少しています。

有効求人倍率については、3月期で1.39となっており、前回調査12月期（1.32）より0.07ポイント増加している。**【下図参照：出展 高山市商工課】**

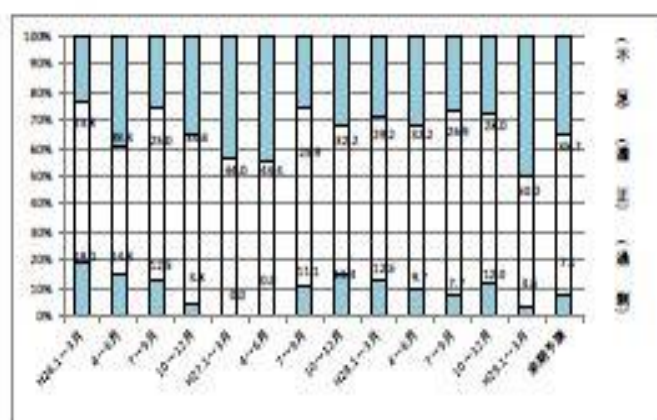
高山市の雇用状況（全体）

第4図 雇用の状況の推移（全体）



来期見込みの雇用状況（土木・建設業）

参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



【 総 論 】

今回の経済レポートは、建設業界を中心に全国規模から岐阜県・高山市へとシフトしながら需要動向を把握し、次年度に向けた需要を予測することで今後の経営計画策定に役立てて頂く事を目的に各種データを集約し、**高山北経済レポート建設業編**を作成しました。

このように経済動向や需要動向を的確に把握し、対処していくことが今後の経営改善に繋がるため、今後も情報提供を行って参ります。

【お問合せ先】

高山北商工会本所（国府） 0 5 7 7 - 7 2 - 4 1 3 0
 丹生川支所 " 7 8 - 2 0 0 2
 上宝支所 0 5 7 8 - 8 6 - 2 3 5 4

